



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO

Japan Community Health care Organization

JCHO九州地区

臨床検査技師

我ら全国ネットのJCHOは地域住民、行政、
関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心
して暮らせる地域づくりに貢献します

What is JCHO?

- ◆全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
- ◆病院だけではなく、介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
- ◆このため、「急性期医療～回復期リハビリ～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。



- 病院 57施設
- 介護老人保健施設 26施設
- 訪問看護ステーション 28施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 健康増進ホーム 1施設
- 看護専門学校 7施設

JCHO 九州地区

- 病院 14施設
- 介護老人保健施設 7施設
- 訪問看護ステーション 7施設
- 地域包括支援センター 1施設

福岡ゆたか中央病院



久留米総合病院



佐賀中部病院



伊万里松浦病院



諫早総合病院



天草中央総合病院



熊本総合病院



下関医療センター



徳山中央病院



九州病院



湯布院病院



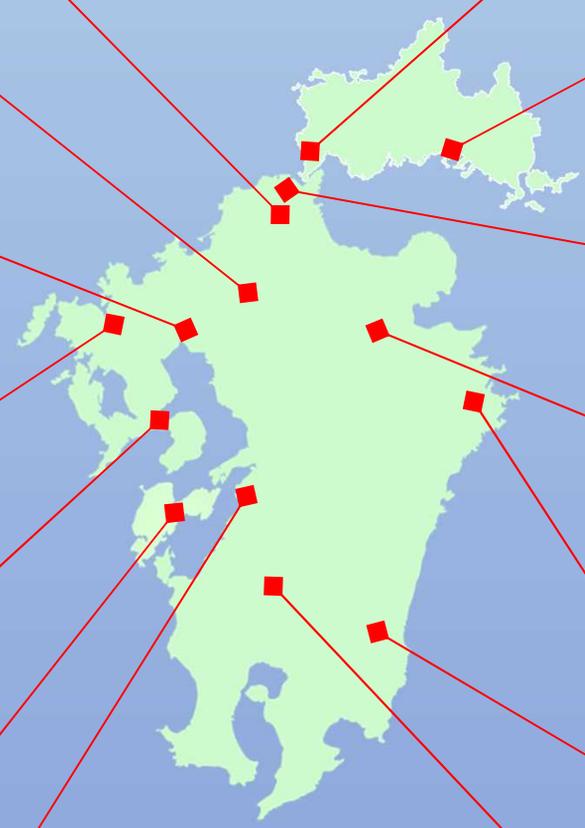
南海医療センター



宮崎江南病院



人吉医療センター



地域における医療連携の取組

地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進
 地域医療連携室・患者相談窓口の強化
 地域連携クリティカルパスの取組の推進
 地域の病院とCTやMRIなどの高額医療機器の共同利用を推進
 地域に開かれた開放型病床の運営
 地域の医療従事者及び地域住民に対して研修を定期的に開催

- 地域医療支援病院 16施設
- 地域がん診療連携拠点病院 3施設
- 都道府県が指定するがん診療連携推進病院等 15施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 地域リハビリテーション支援センター 4施設

5つの医療で地域のニーズ対応

5事業5疾病

1) 5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）

- ①救急医療・地域住民と地域医療に貢献するために、救急医療に積極的に取り組み、救急患者の受入数の増加を目指します。
 - 救命救急センター：2施設
 - 救急医療提供病院：57施設
- ②災害医療・大規模災害が発生した場合には、被災地の実情に応じ、災害発生初期のみならず持続的に支援を行います。
 - 災害拠点病院：13施設
 - 災害支援病院・協力病院・救護病院：14施設
- ③へき地医療・へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力を行います。
 - へき地医療拠点病院：4施設
 - へき地診療の支援：12施設
 - へき地診療所の指定管理者：2施設
- ④周産期医療・分娩数、ハイリスク分娩数、母体又は新生児搬送の受入数について増加を目指します。
 - 地域周産期母子医療センター：6施設
 - ハイリスク分娩を取り扱う病院：15施設
- ⑤小児医療・小児救急患者の受入数について増加を目指します。
 - 小児救急医療（病院群輪番制・夜間休日対応）：23施設

2) 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

地域のニーズを踏まえ、各病院においてこれまでの取組の充実を行います。



研究事業

地域医療機能の向上に係る調査研究の推進

健診事業・診療事業・介護事業で得られたデータを統合し、公衆衛生学・社会的なアプローチも含めた調査研究を行い、その成果を地域の課題解決に係るモデル等として情報発信します。

各関連機関と連携した取組（臨床研究及び治験の推進）

JCHOが有する全国ネットワークを活用し、EBM（エビデンスに基づく医療（Evidence Based Medicine））推進のための臨床研究を推進します。また、治験・市販後調査にも取り組みます。

教育研修事業

地域の医療・介護従事者や地域住民に対する教育活動

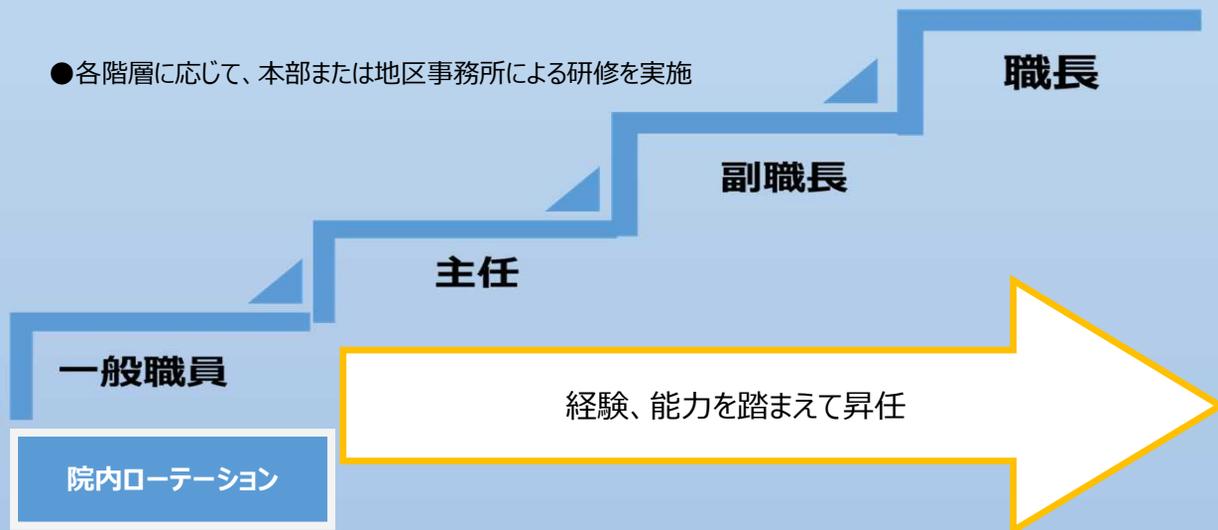
地域の医療・介護の従事者に対し、地域連携等に係る研究会の開催や医療従事者の人材育成に係る研修事業を実施します。

地域住民の健康の意識を高めることなどを目的として、地域住民を対象とした公開講座等を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施します。

地域医療・地域包括ケアの要となる人材の育成

JCHOの特色を活かした臨床研修プログラムやキャリアパスにより、JCHOが担う医療等に対する使命感をもった職員の確保・育成に努めます。

●各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施



JCHOではキャリアアップの一環として、採用病院での勤務では得られない、管内他病院での特徴ある医療を経験できるよう異動を行い、視野の広い医療専門職を養成し地域医療を支えます。※異動は、各職員の事情を考慮します。

先輩職員からのメッセージ

JCHO福岡ゆたか中央病院では、多くの診療科に加え、健康管理センターや検診車による健診業務があり、検査部は、生理検査、検体検査、健診業務、採血業務など多くの業務に携わっています。技師は、様々な検査に従事しており、幅広い知識が求められています。先輩方の指導を受け、患者さんの気持ちを考え、患者さんの立場に立って医療を提供し、検査部の一員として、またチーム医療の一員として、貢献できるように努力を重ねて知識と技術を磨いていきたいと思っています。



稗村 春那

JCHO福岡ゆたか中央病院

2016年 入職



飯干 未来

JCHO熊本総合病院

2015年 入職

自分を磨き、公に貢献できる臨床検査技師を目指して

JCHO熊本総合病院には、患者様を第一に考えた目的意識の高い医療スタッフが集結しています。私たち臨床検査技師は、診断や治療のための重要な検査業務に携わっており、検査機器を使うイメージがあるかもしれませんが、採血や超音波検査などの生理機能検査では患者様と接する機会も多いです。安心して検査を受けていただけるように気配りをしながら責任の重さも感じる日々です。当検査部は、複数の業務を兼任する勤務体制です。覚えることも多いですが、検査結果について多面的に捉えることができ、貴重な経験となります。また各分野において様々な資格取得に力を入れており、先輩技師の指導のもと日々勉強にも励んでいます。チーム医療の一員として、一緒に検査のスペシャリストを目指しましょう。

待遇について

1) 給与 給与は独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

(平成30年4月現在)

採用1年目		大卒	短大3卒
月給	基本給	185,400	174,200
	諸手当込※	216,600	205,400

※諸手当・条件に応じて下記の手当が支給されます。

通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当、広域異動手当、地域手当（都市手当：勤務地により異なる）等
上記は、九州地区の病院勤務で通勤は車で5kmの距離、家賃55,000円の場合の例です。

通勤手当、住宅手当は条件により変わります。

- 賞与（年2回）、年度末賞与（医業収益が良好な病院に支給）

2) 休日・祝日等

4週間を通じて8日、他に国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の休日

3) 休暇等

年次休暇（年20日 繰越日数最高20日 初年度は在職期間に応じ定めた日数）、病気休暇、
特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、子の看護休暇、忌引き、災害被災時など）
その他：育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業 等



4) 福利厚生

- ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- ・退職金制度
- ・院内保育所あり（下関医療センター・徳山中央病院・九州病院・久留米総合病院・佐賀中部病院・諫早総合病院）

5) ワーク・ライフ・バランス支援

- ・「育児短時間勤務」「育児休業」などの各種制度の確保
- ・院内保育所の整備
- ・常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、地域医療機能推進機構内の病院へ異動の希望を支援します。

下関医療センター

住所：山口県下関市上新地町三丁目3番8号

TEL：083-231-5811

mail：main@shimonoseki.jcho.go.jp

担当：総務企画課 職員係

病床数：315床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：総合内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・内分泌外科



病院の特色

当院は本州の西の端、下関市の中でも九州寄りに位置し、本州と九州の出入り口であるJR下関駅から徒歩10分の好立地に建っています。

病院・健康管理センター・介護老人保健施設、訪問看護ステーションを併設し、健診から診療・治療そして介護まで、充実した地域医療を提供しています。

下関医療センター検査部理念

1. 臨床検査の担い手として患者さまを中心とした医療に貢献します。
2. 24時間迅速正確な検査情報の提供と保護につとめます。
3. 高い専門性を維持するため学術・技術の研鑽に努めます。
4. 医療従事者相互の調和につとめ、チーム医療の実践を行います。

職場長からのメッセージ

検査部は、24名（男性6名・女性18名）の臨床検査技師で構成され、病院検査部と健康管理センターの二箇所業務を行っています。病院検査部は、臨床化学・血液一般・免疫血清・輸血・病理・微生物・生理の7部門より成り、救急医療に備え日当直者による24時間体制をとっています。病院併設の健康管理センターでは、年間3万件を超える健診を実施し予防医学の実践に努めています。

また、外来患者採血業務やICT、NST、糖尿病教室などチーム医療への積極的な参画を行い、信頼される検査部を実践しています。

今年は維新150年！幕末の歴史残る下関は良いところですよ。



先輩職員からのメッセージ

H29年4月にJCHO下関医療センターに入職し、生理検査と検体検査に配属されました。研修制度での教育体制が整っており、先輩から丁寧に指導して頂きながら、一つ一つ技術や知識を身につけることができ、とても働きやすい職場です。学校で学んできたことに加え、臨床的な知識が幅広く必要であり、日々勉強の毎日ですが、たくさんのベテラン技師や他職種の方々と協力しながら下関の地域医療に貢献できるように頑張っていきたいと思います。



取得資格	人数
超音波検査士（腹部）	2名
認定血液検査技師	2名
細胞検査士	2名
やまぐち糖尿病療養指導士	5名
二級臨床病理技術士	1名
認定輸血検査技師	4名
健康食品管理士	1名
日本糖尿病療養指導士	2名
カンパセーションマップファシリテータ	3名
認定脳波技術士	1名
NST専門臨床検査技師	2名
認定心電検査技師	1名
緊急臨床検査師	1名

徳山中央病院

住所：山口県周南市孝田町1番1号

Tel：0834-28-4411

mail：soumu@tokuyama.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：519床 寮・宿舍：なし 保育所：あり

診療科：内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、
糖尿病内分泌内科、小児科、外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、
リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、
放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、心臓血管外科、歯科、歯科口腔
外科、緩和ケア内科、精神科、救急科、リハビリテーション科



病院の特色：周南市・下松市・光市の3市で構成される人口約26万人を擁する診療圏の基幹病院です。ダ・ヴィンチ・サージカルシステム、ノリス（高精度放射線治療装置）、PET-CT、320列CT、ハイブリッド手術室等の最新鋭の医療機器設備を装備し、高度な医療の提供を目指すとともに救命救急センターや屋上ヘリポートを有し地域の急性期医療を担っています。三次救急病院として24時間の受入体制を整備し、地域の方々からは「とくちゅう」として親しまれています。地域がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けています。



職場長からのメッセージ

とてもフレンドリーな職場です。
緊急検査に関わるgeneralな
技術から、専門的な知識まで、
共に培いましょう。

検査部理念

- ・情報発信基地として、高精度・高品質の検査データを迅速に提供します。
- ・24時間体制の緊急検査対応で地域医療に貢献します。
- ・信頼され、必要とされる臨床検査室を目指します。

認定検査技師在籍状況

細胞検査士
超音波検査士
認定輸血検査技師
認定血液検査技師
認定一般検査技師
認定心電検査技師
認定救急検査技師
心血管インターベンション技師
糖尿病療養指導士
認定救急検査士
二級臨床検査士 他



徳中魂



- 臨床への貢献を積極的に行い、体外受精等の周産期医療への協力、心臓カテーテル検査への補助、自己血糖測定器の管理・指導、更にICT、NST等、チーム医療の一員として活動をしています。
- 学会発表や研修会参加を積極的に指導し、スキルアップを応援します。
- バイザー制度を設け、社会人として臨床検査技師として、スムーズに職場に溶け込めるよう支援しています。



九州病院



住所：北九州市八幡西区岸の浦 1 丁目 8 番 1 号

TEL：093-641-5111（代）

mail：jinji@kyusyu.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：575床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：整形外科、外科、呼吸器外科、消化器外科、胃腸外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、胆のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科

病院の特色：1955年に九州厚生年金病院として設立。急性期医療施設として、北九州における基幹病院の役割を担っています。2017年度1日平均入院患者数464.2人、1日平均外来患者数743.7人、平均在院日数12.0日、病床稼働率87.5%、職員数は約1,100人。新生児から超高齢者までの循環器疾患治療と心臓外科手術、地域がん診療連携拠点病院としてがん看護、緩和ケア、福岡県地域周産期母子医療センターとして周産期医療、小児医療に取り組んでいます。また、救急告示病院としてヘリポートの設置、救急医療体制の充実にも力を注いでいます。

職場長からのメッセージ



検体検査や生理検査の最新の知識をもとに、迅速に正確な検査結果を提供できる臨床検査技師を育成します。

【理念】

- ・正確な検査データを迅速に臨床に還元し、診断や治療方針の決定に貢献します。
- ・検査技術の向上のため、日々研鑽し将来の医療を担う優れた検査技師の育成に努めます。

・私たち中央検査室は、検査技術・知識を研鑽して精度の高いデータを提供するだけでなく、常に患者を中心に考え事故防止や接遇などにも気を配り、高度医療を支えるチーム医療の一員として重要な役割を果たしています。

精度保証施設に認証されています。

エキスパートの育成

- ・日本超音波医学会認定 超音波検査士17名
 - ・心臓リハビリテーション指導士5名
 - ・細胞検査士7名（国際細胞検査士5名）
 - ・栄養サポートチーム専門療法士2名
 - ・認定輸血検査技師1名
 - ・認定血液検査技師4名
 - ・二級臨床検査士（微生物2名、血液1名、循環器2名）
- 全24分野、のべ64名の技師が専門・認定資格を取得しています。

・夜間や休祝日も休むことなく365日24時間検査体制をとって、臨床各科の基盤を支える医療の進歩に対応するため最新の技術や知識で対応しています。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

久留米総合病院

住所：福岡県久留米市櫛原町21番地

TEL：0942-33-1211

担当者：総務企画課

mail：main@kurume.jcho.go.jp

病床数：175床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌代謝内科、循環器内科、腎臓内科、腎臓外科、一般外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック内科、皮膚科、眼科、放射線科、精神科（リエゾン）、病理診断科、総合診療科、女性総合診療科、リハビリテーションセンター、外来化学療法センター、手術センター



病院の特色：当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健（健康管理センター）、医療（病院）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。

全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。

【検査部運営方針】

- ・すべての臨床検査が利用者の生命に直結していることを常に忘れず、検査を実施します。
- ・利用者の皆様には常に心のこもった暖かい対応を心がけます。



【職場長からのメッセージ】

臨床検査科診療部では、健康管理センター業務も含め、特殊検査以外を院内で実施しており、迅速かつ質の高い検査データの提供を心がけています。

年間を通して臨地実習を受け入れており、学生の実習指導より刺激を受け、自己研鑽に努め業務に取り組んでいます。

また、他の部門と協力し糖尿病教室、腎臓病教室、女性総合診療科（なでしこ外来）、乳腺カンファレンス等の運営に参加し、チーム医療に取り組んでいます。

あなたも、私たちと一緒に働いてみませんか！

【認定技師】

- ・細胞検査士 JSC 4名 国際細胞検査士 IAC 3名
- ・超音波検査士 7名
 - 消化器領域 7名 循環器領域 3名 体表臓器領域 4名
 - 泌尿器領域 1名
- ・JABTS乳房超音波講習会試験 A評価：5名



【臨地実習受入校】

- ・久留米大学医学部附属臨床検査専門学校
- ・熊本保健科学大学 医学検査学科
- ・純真学園大学 保健医療学部 検査科学科
- ・国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 臨床検査学科





独立行政法人 地域医療機能推進機構

福岡ゆたか中央病院

住所：福岡県直方市大字感田523-5

TEL：0949-26-2311

担当者：総務企画課

mail：main@fukuoka.jcho.go.jp

病床数：162床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、外科、乳腺外科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ科、循環器内科、呼吸器外科、整形外科、眼科、肛門科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科



病院の特色：当院は、病床数162床の急性期病院として、「地域包括ケアの医療の要」機能を果たしていくことを第一の使命とし、地域の皆さまより深い信頼を寄せられ、地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針のもと、働きがいのある病院づくりで、地域の方々のみならず、職員の皆さまからも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。

【理念】

患者様への貢献

患者様が安全かつ安心して受けて頂ける検査を目指します。

医師への貢献

迅速で精度の高い検査情報を提供します。

経営への貢献

リスクマネジメントを徹底し、最低限の費用で最大限の検査を提供します。

チーム医療への貢献

医療人として誇りを持ち、チーム医療に貢献する技師を目指します。

検査部の取組

① 院内チーム医療への参画

- ◆医療安全委員会 ◆糖尿病療養指導 ◆褥瘡N S T委員会
- ◆感染対策委員会 ◆クリティカルパス ◆外来採血

② 資格取得への取り組み

ひとりひとりが資格取得を目指し、地域の研修会に積極的に参加しています。また部内症例検討会も実施しています。

(超音波認定技師、糖尿病指導療養士など資格を取得しています。)

③ 人材育成への取り組み

各技師のスキル表を作成し「業務の見える化」を行い、人材育成に取り組んでいます。また毎月1～2回程度、部内勉強会を行っています。

検査部のスローガン

何でも、みんなで考えていこう。



メッセージ

患者様の目線に立ち、「目配り・気配り・心配り」を心がけ“何でもみんなで考えていこう”をスローガンに検査部の運営を行っています。人材育成にも力を入れ、取り組んでいますのでインターンシップに参加してみませんか？皆さんをお待ちしています。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

佐賀中部病院



住所：佐賀県佐賀市兵庫南三丁目8-1

TEL：0952-28-5311

担当者：総務企画課

mail：main@saga.jcho.go.jp

病床数：160床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、
脳神経内科、放射線科、病理診断科

病院の特色

昭和21年に設立され、平成8年に現在地に移転しました。

病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。

職場長からのメッセージ



総合力と専門性を兼ね備えた
次世代の臨床検査技師を育成
します。

元気・やる気・本気で一緒に頑
張りましょう。

【理念】

正確かつ迅速な質の高い検査情報を提供します。



【スローガン】：3つのアップ

スキルアップ マナーアップ クリーンアップ

教育体制

<教育目的>

佐賀中部病院の基本理念を理解し、専門職業人としての認識を高め、安心で安全な質の高い検査情報を提供できる。

<新採用者教育プログラム>

1年目：ルーチン業務全般の検査手技、基本的な知識を徹底指導します。

2年目：ローテーション業務を担当します。自発行動を促し、検査手技の融通性（患者1人1人に見合った手法）を学びます。

3年目：ローテーション業務を確実なものにし、責任行動を身につけます。

4年目～：総合力をさらにスキルアップし、専門性を探究する。（自己研鑽）

<教育の場>

- ・部署内定期研修
- ・乳腺カンファレンス
- ・佐賀県臨床技師会部門別研修会
- ・各種学会、その他研修会への参加を推奨

《認定臨床検査技師》

- ・細胞検査士（3名）
- ・超音波検査士（3名）
- ・睡眠医療認定検査技師（2名）
- ・認定輸血検査技師（1名）





独立行政法人 地域医療機能推進機構

伊万里松浦病院

住所：佐賀県伊万里市山代町立岩417番地

TEL：0955-28-3100

担当者：総務企画課

mail：main@imari.jcho.go.jp

病床数：112床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、こう門科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科



病院の特色：当院は佐賀県伊万里市にありますが、長崎県松浦市にある松浦市立中央診療所の委託運営を行っており両県をまたいだ診療を行っております。平成27年4月には松浦市立中央診療所に当院附属の訪問看護ステーションが設置され、伊万里市、松浦市の両市において、広く訪問リハビリを展開しています。また院内においては、運動器疾患、呼吸器疾患、中枢神経疾患、糖尿病など多様な患者様がいらっしゃり、各スタッフがそれぞれの専門分野を生かしたリハビリを行っております。



職場長からのメッセージ

技師数5名・開かれた検査室、
いろいろな検査にチャレンジし、広く
患者と向き合えます。共に技術を
磨きましょう。

【理念目標】

「和」を大切に患者様と向き合います。
誠実な対応、正確なデータを心がけています。

★無呼吸検査への取り組み★

H13年から開始した睡眠時無呼吸検査は、紹介患者も増加しています。検査技師が治療に携わることができる検査として取り組み、地域事業など睡眠検査の講話も実施し予防医学の提供にも力を注いでいます。



☆検査室の特徴☆

睡眠時無呼吸検査に力を入れており、PSG・アプノモニター・パルスオキシメーターの解析から治療器の導入まで検査技師が行っております。また、技師が少人数のため部門間の隔たりがなく、いろいろな検査に携わることができます。一人一人が働きやすく、キャリアを積み成長できるよう支援しています。



他の施設が羨ましがれる程のチームワークがあり、
笑顔の絶えない検査室です。

諫早総合病院



住所：長崎県諫早市永昌東町24番1号

TEL：0957-22-1380

担当者：総務企画課

mail：soumu@isahaya.jcho.go.jp

寮・宿舎：なし 保育所：あり

病床数：323床 一般病床315床（うちICU8床）、結核病床8床

診療科：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科

職員数：約570名

病院の特色：当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約20万人の医療圏において医療を提供しています。

病床数323床、診療科22、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。

職場長からのメッセージ

ご覧のようにまだまだ認定技師が少ない現状です。検査のプロフェッショナルを目指すあなた、いっしょに検査を極めませんか？



臨床検査技師の仕事

生化学検査、血液・凝固検査、輸血・免疫検査、病理・細胞検査、一般検査、微生物検査、生理・超音波検査等の

検査業務の他に糖尿病指導などのチーム医療の一員として25名の技師が活躍しています。

勤務体制はME機器の立ち上げや入院患者の検体測定のため早出勤（5名で勤務、週単位で交代）がありますが通常より1時間早く帰れます。また、救急医療体制のなかで、検査部として24時間、緊急検査にも対応すべく宿日直業務（1名で勤務、休日は2交代）があります。

教育活動として、学会発表や各種認定の取得を積極的に推進し、各種団体の精度管理調査（日本医師会・日本臨床衛生検査技師会・長崎県医師会等）にも意欲的に参画して知識・技術の向上を目指しています。

認定技師

細胞検査士	4名	認定輸血検査技師	2名	認定心電検査技師	5名
超音波検査士（循環器）	3名	認定血液検査技師	1名	糖尿病療養指導士	3名
超音波検査士（消化器）	1名	認定心電図検査技師	3名	超音波検査士（血管）	2名
認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師	1名				

・X線CT認定技師1名

・第一種放射線取扱主任者3名



独立行政法人 地域医療機能推進機構

熊本総合病院

住所：熊本県八代市通町10番10号

TEL：0965-32-7111

担当者：総務企画課

mail：main@kumamoto.jcho.go.jp

病床数：344床（一般340床・感染4床）

宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、総合診療科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科



病院の特色：当院は、「機能溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマークとなって新しい美しい街創りに貢献する病院」です。「医療と共に公に一肌脱ぐ」、「職員自身がかけたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインのニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。



職場長からのメッセージ

地域医療に貢献し信頼される検査を提供するため、人材育成に力をいれています。
検査技師が生き生きとやりがいをもって働ける職場を目指し、ディスカッションを大切にしています。



－検査部の理念－

病院の理念である『自分自身がかけたい医療を行う』に基づき、正確なデータを迅速に提供し、患者様に信頼される臨床検査技師を目指します。

【取り組み】

高度急性期医療を全力でバックアップするために、各診療科や各部門と連携しチーム医療に邁進します。
『全ての医療行為は、たゆまぬ基本の積み重ね』をスローガンに、ルールを守り一人一人が自覚をもって医療安全に取り組みます。

【人材育成】

最新の機器を備えた恵まれた環境の中で、技術研鑽を目的に研修会や学会発表を積極的に行い、認定資格取得を目標に人材育成に努めます。



認定・専門資格

- 超音波検査士（循環器領域）
- 超音波検査士（消化器領域）
- 超音波検査士（泌尿器領域）
- 超音波検査士（健診領域）
- 心電図検定1級
- 認定心電検査技師
- ピンクリボンアドバイザー
- 熊本地域糖尿病療養指導士
- 国際細胞検査士
- 細胞検査士
- 認定病理検査技師
- 緊急臨床検査士
- 認定血液検査技師
- 二級臨床検査士（循環生理学）
- 二級臨床検査士（血液学）
- 二級臨床検査士（微生物学）
- 認定臨床微生物検査技師
- 感染制御認定臨床微生物検査技師
- 医療情報技師
- 劇物毒物取扱責任者

人吉医療センター



住 所：熊本県人吉市老神町35番地
Tel：0966-22-2191
担当者：総務企画課
mail：main@hitoyoshi.jcho.go.jp
寮・宿舎：なし
病床数：252床

診療科：糖尿病・代謝・内分泌内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、小児科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、画像診断センター、産婦人科、麻酔科、総合診療科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、相談支援センター、がんケアセンター、訪問看護ステーション

全人医療

“140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します”の理念のもと、地域の医師会、大学、行政、住民の皆様と協力して5疾病5事業を始めとして地域の医療・介護福祉に貢献していきます。また、人吉球磨地方だけでなく南九州3県県境地域を診療域とし地域包括ケアに必要な総合診療医を育成する体制も整えています。予防から治療・緩和ケア・在宅支援まで当院が目指している全人医療を提供します。

役割

検査科では、正確な結果を迅速に臨床に提供し24時間体制をとることで診療、救急医療、災害時医療に貢献していきます。また、血液製剤備蓄機関として地域医療に貢献していきます。

目標

日々進歩する医療に対応し、精度管理の徹底、研修会参加、学会発表、認定技師免許取得、新人教育に取り組み質の向上を目指します。また、他部署との連携を図りよりよい医療の提供をおこないます。

チーム医療への参加

- ・ICT（感染対策チーム）
- ・NST（栄養サポートチーム）
- ・心臓カテーテル検査
- ・心臓リハビリテーション（CPX）
- ・糖尿病教室



健診業務への協力体制の他、特殊外来（乳腺・甲状腺外来、肝臓外来、血管外来、リンパ浮腫外来）において乳腺、甲状腺、肝臓、動脈、静脈の超音波検査を行っています。



細胞検査士、超音波検査士（心臓・腹部・表在）、心臓リハビリテーション指導士、日本糖尿病療養指導士、二級臨床検査士（微生物・臨床生化）、救急検査認定技師、心血管インターベンション技師など計24名（延べ）が在籍しています。

住所：熊本県天草市東町101番地

TEL：0969-22-0011

担当者：総務企画課

mail：soumu@amakusa.jcho.go.jp

病床数：155床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、
産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、
皮膚科、歯科口腔外科、麻酔科



病院の理念と方針
やさしさと思いやりのある医療をすべての患者様へ

病院の特色

- 専門医療の充実と他診療科との連携
- がん診療、治療の充実
- 熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院
- 看護体制（認定看護師による看護の質向上）
- 地域医療連携の強化
- 救急医療の充実
- 画像診断
- 健診業務の充実
- 高齢者の疾患対策
- 附属介護老人保健施設との連携による医療介護

職場長から一言

アットホームな環境で一緒に働いてみませんか。平均年齢は他の施設より若干？高めですが、やさしく丁寧に指導致します。

検査部の理念

- ・地域住民に信頼される安全で安心な検査を提供する。
- ・正確な検査結果を臨床へ迅速に返し、診断や治療方針決定をサポートする。
- ・日々研鑽し、検査技術の向上に努め、後輩の育成を行なう。

日本臨床細胞学会認定細胞検査士：2名
国際細胞検査士：2名
超音波検査士（循環器）：1名



各種研修会等へも積極的に参加しています。
やる気があればいろいろな業務にチャレンジ出来ます。
明るく楽しい職場作りをモットーに仕事をしています。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

南海医療センター

住所：大分県佐伯市常盤西町11-20

TEL：0972-22-0547

担当者：総務企画課

mail：main@nankai.jcho.go.jp

寮・宿舎：1DKバス・トイレ、冷暖房完備

病床数：病院260床、老人保健施設100床

診療科：内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科（休診中）、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、リハビリテーション科、循環器内科、麻酔科

新病院2020年完成予定



病院の特色：大分県南地域の中核病院として急性期医療を担っています。（消化器外科等の手術、透析、心臓カテーテル検査、P C I、消化器・血液内科等の化学療法等）。

また、新病院建設に向けて、災害拠点病院、D M A T 指定病院としての機能を発揮し、質の高い医療を提供することを方針にあげています。



職場長からのメッセージ

正確且つ迅速をモットーに、付加価値のある臨床データの提供をすべく日々共に努力しましょう。

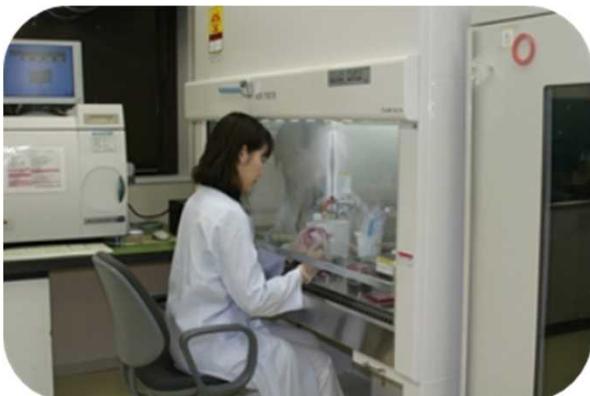
【目標】

- ◆ 検査業務作業効率のアップを図る
- ◆ 検査生産性を上げよう
- ◆ 5S活動の推進

当院検査は病気の早期発見、治療に欠かせない検査を電子カルテのもと検査システム・生理システム・各部門システムと連携させ迅速対応可能な体制を整えており、診断・治療に大いに貢献しています。緊急検査を含め24時間体制で対応できるよう臨床検査技師12名が頑張っています。



細胞検査士 3名 認定血液検査技師 1名
 日本糖尿病療養指導士 1名
 超音波検査士（消化器3名 循環器 1名 表在 1名）



住所：大分県由布市湯布院町川南252

TEL：0977-84-3171

担当者：総務企画課

mail：main@yufuin.jcho.go.jp

病床数：273床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科



病院の特色：温泉観光地「湯布院」という豊かな自然環境のなか、リハビリテーションを核とした地域医療を推進しています。大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）として大分県から委託され、6圏11広域支援センターおよび19の職能団体と協力して地域リハビリテーションの啓蒙・普及に努めています。また、県リハ支援センターが事務局となっている大分災害リハビリテーション推進協議会（大分JRAT）と大分県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結して、災害時における被災者の医療救護の協力をおこなっています。

由布地域包括ケア推進協議会（実施主体：湯布院病院、地区医師会、中部保健所）では、由布市から委託されて主体的・実践的に協働しています。

【理念目標】

正確かつ迅速な検査で診療支援を行います

臨床検査科からのメッセージ

臨床検査科スタッフは、病気の診断、治療、予防、早期発見につながる検査結果を、正確かつ迅速に臨床に提供するため、日々研鑽を重ね質の向上に努めています。

少人数ではありますが、臨床のサポートチームとして貢献できるよう、認定取得にも力を入れて取り組んでいます。

チーム医療の一員として参加

- ・ NST・嚥下委員会
- ・ ICT（院内感染対策）委員会
- ・ 輸血療法委員会
- ・ 医療安全委員会
- ・ 生活習慣病講義 など



臨床検査科スタッフの活動

- ・ 毎月の検査科内勉強会
- ・ 技師会等の研修会参加、学会参加
- ・ 他部署に向けての研修会の講師など

* 年に数回他部署との親睦会も開催しています！





独立行政法人 地域医療機能推進機構

宮崎江南病院

住所：宮崎市大坪西1丁目2番1号

TEL：0985-51-7575

担当者：総務企画課

mail：main@miyazaki.jcho.go.jp

病床数：269床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科 外科 整形外科 形成外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科 循環器内科



病院の特色

1. 地域医療支援病院である
2. 形成外科認定施設である
3. 急性期から慢性期に至る患者を対象としている
4. 宮崎NST研究会の幹事病院で、NST教育認定施設である
5. 訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している



職場長からのメッセージ

自ら積極的に取り組む
姿勢に期待します

<目標>

- ・迅速で正確な結果を報告します（付加価値をプラスして）
- ・検査全般にわたる幅広い知識を有し、得意分野においてはスペシャリストを目指します
- ・患者さんや同僚などに、優しく丁寧に対応します

認定資格取得状況

超音波検査士 NST専門臨床検査技師

細胞検査士 健康食品管理士

（認定資格を取得できるように、

私たちがサポートします）

<業務内容>

検体検査、輸血検査、細菌検査、超音波検査（心臓、腹部、乳腺、甲状腺、血管）、心臓カテーテル検査、生理学的検査、ABI、SPP（皮膚組織灌流圧）、病理・細胞診検査（術中迅速診断）、検診

※ NST、感染対策、がん治療支援、医療安全、クリニカルパスなどの委員会活動にも参加します

勉強会

- ・部内勉強会（毎月開催）
- ・放射線部、薬剤科と合同勉強会（年6回）症例検討を行い、画像や薬についても勉強しています
- ・その他、院外のコメディカルも参加できる勉強会も開催しています（年2回）

チームワークと笑顔を大切に
しています



JCHO九州地区



JCHO 九州地区

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州地区事務所

〒806-8501

福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1

☎ : 093-641-9744(代表)

Fax : 093-641-9110

<http://www.jcho.go.jp/chikukyusyu/>